

高校家庭科における共生意識の形成を目指した 授業開発

－ ユニバーサルデザインを通して －

学籍番号 209327
氏名 松端 葉奈
主指導教員 鈴木 真由子先生

1. 研究の背景と目的

1.1 背景

近年、児童生徒の規範意識の低下が課題として取り上げられることが多くなってきた。文部科学省の「現代の子どもの成長と徳育をめぐる今日的課題」において、自制心や規範意識の低下が挙げられ、さらに「高等学校教育の課題」においても、学習意欲の減退や規範意識の低下が課題として挙げられている。また、基本学校実習における生徒の観察や、先生方からのインタビューから、全体的に規範意識が低いことが明らかとなった。これらのことから、高等学校において規範意識を向上させるための教育を行い、共生社会の担い手として生徒を育成する必要があると考えた。

以上のことから、研究テーマを「高校家庭科における共生意識の形成を目指した授業開発－ユニバーサルデザインを通して－」とし、自分とは違う状況にある人が持っている困難性を想像し、共に感じる力をつけ、社会は様々な人によって構築されているということを理解させることによって規範意識を育成し、生きる力を育む必要があると考える。

1.2 目的

本研究の目的は、規範意識を高めるために、様々な人々を視野に入れたユニバーサルデザイン(以下UDと示す)についての授業を開発し、その授業による規範意識の変化を分析し、授業の活用方法を検討することである。それによって、UDと規範意識との関連を探り、授業の有効性を検証する。

2. 方法

家庭基礎「生活と福祉」において、子どもや高齢者、住生活のことを織り交ぜながらUDについての授業を行う。授業は全5時間で、高齢者や色覚障がいなどの体験活動を行い、自分とは違う立場にある人々について理解させる。その上で、全ての人々が生活しやすい町や住まいにするためにはどのような工夫や改善が必要であるのかを考えさせ、最後にUD製品を提案させる。授業の前後、一定期間経過後の計3回、UDの理解度と規範意識の関係性についての質問紙調査を行い、事前、事後、一定期間経過後では結果にどのような変化がみられるのかを調査する。項目は、Ⅰ用語の理解度について ⅡUD製品、施設について Ⅲ

道徳性について IV公共性について の全4問作成した。発展課題実習Ⅰでは UD についての授業実践、授業の前後の質問紙調査を行う。発展課題実習Ⅱでは、担当させていただく 3.4 組で授業実践後にも、UD について学んだことを思い出させるために、他の題材の授業の中で UD に関する発問や声掛けを行う。そして、一定期間経過後の質問紙調査で、行わなかった 1.2.5.6 組と比較し、長期的なアプローチによってどのような変化が見られるのかを調査する。

3. 結果と考察

3.1 結果

UD についての授業では、体験学習を行ったことで「自分と違う立場の人の困難性を知ることができた」というワークシートの記述が全体のおよそ4割見られ、より具体的に工夫や改善策を考えることができていた。しかし、昨年度より授業実践が早い時期に行われたため、生徒を観察する期間が短く、生徒観にぴったり合った授業を行うことが出来なかった。

質問紙調査では、3.4 組と 1.2.5.6 組を比べると、用語の理解度、公共性については UD に関する発問や声掛けを行った 3.4 組の方が、増加率が大きくなっていった。しかし、道徳性については 1.2.5.6 組の方が増加率が大きく、UD 製品、施設については正答数が減少した。

3.2 考察

昨年度と比べると、今年度は問題行動をおこす生徒が多いことから、規範意識が低い生徒が多く、さらに生徒観にぴったり合った授業を行うことが出来なかったことから、あまり規範意識を高めることが出来なかったのではないかと考える。

UD に関する発問や声掛けを行った結果、3.4 組では道徳性、公共性についての質問の中の「友だちが悪いことをしていたら、やめさせている」「友だちや仲間の都合よりも、自分の都合を優先させる」という項目が増加したり、増加率が大きかったりと、特定の項目にはアプローチの効果が見られたと考える。しかし、増加率が小さかったり、正答数が減少したりしている項目もあることから、アプローチの仕方を考え直す必要がある。また、汎用性を高めるために、他の質問項目での実施や、異なる学科での実施も検討する必要があると考える。

4. 参考文献

・文部科学省 高等学校教育部会配布資料 「課題の整理と検討の視点(案) 2. 高等学校教育の課題」 H24/7/12 2021/12/19 閲覧

(https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/attach/1325910.htm)

・文部科学省 「子どもの徳育の充実に向けた在り方について(報告) 2. 現代の子どもの成長と徳育をめぐる今日的課題」 H21/9/11 2021/12/19 閲覧

(https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/053/gaiyou/attach/1286155.htm)